一般質問

9月1日から4日、7日の5日間にわたり、33名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをただしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の模様は市議会のホームページで録画映像の配信中

最終処分場エリアの利用について

山下てつや（公明党）

問 最終処分場エリアは法規制前の旧埋立地と法規制後の一般廃棄物最終処分場である池の辺地区と峠谷地区埋立地に分けられる。利用にあたり、どのような課題、制限があるのか。

髙橋副市長　池の辺、峠谷地区の上部利用は、法令に定められた埋立処分終了届の提出後になり、完了には対策工事や行政上の手続が必要です。課題は、工法等の検討が必要になってくると考えています。旧埋立地は、ボーリング調査等の結果を踏まえて、対策工法をどう行っていくのかが課題になると考えています。

問 土砂崩れを防ぐために、フォレストベンチ工法の導入を検討してはどうか。

学校教育部長　ほかの工法に比べ最も適していると確認された場合、工法の1つとして検討することになります。

「戦後70年」の認識を問う

殿村健一（日本共産党）

問 「戦後70年、被爆70年」にあたり、安保（戦争）法案と憲法9条、核兵器全面廃絶について認識を問う。

政策経営部長　町田市は非核平和都市宣言の中で核兵器の廃絶と非核三原則の完全実施を訴えています。

問 くじら山の緑と湧水を生かし、住環境と安全を守るまちづくりを求めるがどうか。

都市整備担当部長　事業者からは今までの経緯を踏まえ、住民要望に配慮した希少種と湧水の保全を講じていると説明を受け、市としても保全に努めるようお願いしています。

問 鎌倉街道（菅原神社付近）の交通安全対策の強化を求めるが、どうか。

建設部長　より見直しができるものであればお願いしたいが、都道ですので東京都で警察署とよく協議を願いたいと再度改めて伝えたい。

町田の静かで安全な空をかえせ

谷沢和夫（まちだ市民クラブ）

問 先般、第四次厚木基地爆音訴訟の控訴審判決が東京高裁で出されたが、市はこれをどう受け止めているのか。また、今後のジェット機騒音に対してどう対応するのか。

政策経営部長　国は今回の判決を重く受けとめ、騒音被害の解消に向けて積極的に取り組んでほしいと考えています。市としては、航空機騒音の軽減に向けて、今後も厚木基地周辺自治体とともに国、米軍に粘り強く要請していきます。

問 選挙権年齢「十八才以上」引き下げに伴って、若者の投票率アップに向け市はどのような対策をしているのか。

選挙管理委員長　教育委員会のご協力もいただいて選挙出前講座を実施します。また明るい選挙推進協議会と連携してツイッターを開設し、選挙情報の発信をします。

市庁舎に掲示する懸垂幕

子育てするなら町田を目指して

松葉ひろみ（公明党）

問 近隣市と比較して設置数が少ない「赤ちゃん・ふらっと」の整備促進を早急にお願いしたい。

子ども生活部長　基準は満たしていても、まだ東京都に申請していないケースが町田市にもかなりあります。公共施設についてはしっかりとPRすべきところですので、登録申請の手続については早急に対応していきたい。

問 イベント時などに移動式「赤ちゃんの駅」を無料レンタルしてはどうか。

子ども生活部長　まずは先進市を参考に取り組み内容も含めて研究していきたい。

問 子育て応援企業を募集し、割引や特典がつく子育て家庭優待カードを導入しては。

子ども生活部長　他の団体での子育て優待カードの取り組みについて研究していきたいと考えます。

特別教室にもエアコン設置を

佐々木智子（日本共産党）

問 小・中学校の特別教室へ国・都の補助金を活用して計画的にエアコン設置を進めるべきだがどうか。

学校教育部長　財源確保に努め、できる限り早期に設置をしていきたい。

問 旧忠生第六小学校跡地活用の検討状況と地域住民からの意見聴取の時期はいつか。

政策経営部長　素案の策定に来年度着手し、できた段階で近隣住民を含めて意見を伺いながら活用方法を決定していきたいと考えています。

問 高齢者を消費者トラブルから守るための消費生活センターの取り組みはどうか。

市民協働推進担当部長　高齢者支援センターが主催する学習会に相談員を派遣して相談事例や注意点、対処法を伝え、被害を未然に防げるように啓発活動をともに実施するなど連携を図っています。

すみれ教室の機能増強を！

森本せいや（まちだ市民クラブ）

問 すみれ教室にとって喫緊の課題「知的認可通園部門の増強」と、「身体認可通園部門の増設」を強く求める。

子ども生活部長　医療行為を伴わない肢体不自由児について、認可通園部門に受け入れる方向で細部の検討を進めています。定員についても現在の状況を勘案し拡大していく方向で考えています。

問 鶴川駅前図書館について、開館当時からの課題である開館日・時間の早期拡大を

生涯学習部長　利用状況等を勘案しながら研究します。

問 公契約条例は、建築等事業者・労務者・市民の公共の福祉に資する。早期実現を求めるか、いろんなことを含めて見極めをし、条例が目的ではありませんので、そのつもりで調査をし、職員との間でも確認をしていきたい。

市長　政策効果をどこまで

無電柱化の推進／認知症施策

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問 無電柱化の利点と課題をどのように考えているか。

建設部長　利点は、災害時に電柱の倒壊や電線の断線がなくなり、防災性が高まる点などがあります。課題は、補助制度はあるが、整備に多額の費用を必要とし、沿道住民の合意形成や占用企業者との調整に時間を要することです。

問 市民団体が行う認知症の普及啓発イベントに市として支援をしていくべきだが。

いきいき生活部長　必要に応じて職員派遣や高齢者支援センターなどを通じて関係団体にイベントの周知を図るなどの支援を行っています。

問 家族介護者支援として介護者へのアセスメントを行っていくべきだがどうか。

市長　一番重要なところなんですが、かなりの時間がかかります。そこに介護費用をかけていくべきだと思います。

境川調節池、住民要望を受けて

おさむら敏明（自由民主党）

問 境川調節池（西田スポーツ広場）、土砂搬出入ルートの分散、地下水対策、分割施工により広場の確保を。

下水道部長　施行者の東京都と情報共有を図り、境川の治水安全度の向上に努めます。

問 南町田駅周辺地区拠点整備基本方針、官民連携事業方針が示された、地元協議を踏まえ事業の推進を。

市長　5つの町内会・自治会との整備計画検討会を開催し、拠点整備基本方針を踏まえた議論を開始しています。土地区画整理事業計画などを含めて、検討会の皆さんの協力を得て集中的に議論を重ねることにしています。

問 野津田公園、様々なスポーツ利用に開放を求める。

都市づくり部長　公園の中を多くの市民に活用していただくということは、これからも可能性を探っていきたい。

高齢者のごみ袋無料配布の廃止

吉田つとむ（保守連合）

問 町田市の鉄道交通（リニア・小田急・モノレール）の計画・工事に対する町田市の対応は着実なのか。

政策経営部長　相模原市と、例えば橋本駅にリニアが来ることに関して、お互いに共存共栄できるような取り組みができるかということは考えていかなければいけない。

都市づくり部長　交通政策審議会の答申後に早期に関係者による合意形成を図ることができるように、必要な調査を実施するとともに、事業化に向けての課題について関係機関と密接に協議調整を進めていきます。

問 高齢者への一律ごみ袋無料配布は、市民の公平な負担に合わない。高齢者のごみ袋無料配布の廃止を求める。

いきいき生活部長　現時点では制度を見直すという予定はありません。

高齢者指定収集ごみ袋
（総容量1200リットル分）